

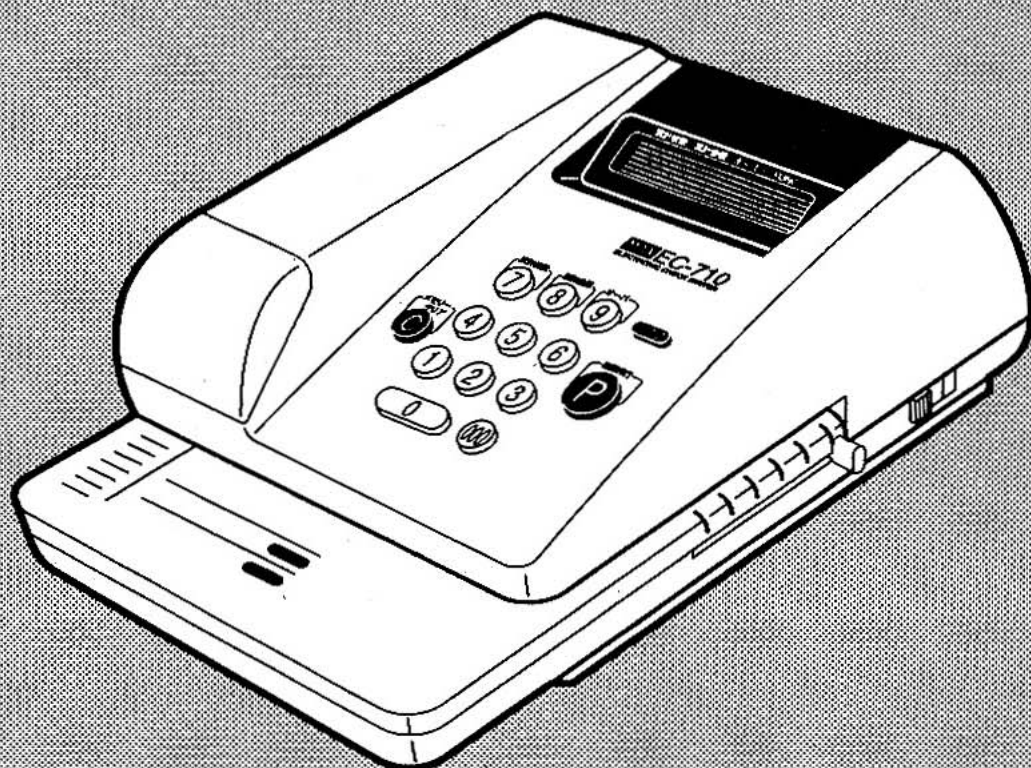
MAX

ELECTRONIC CHECK WRITER

電子チェッカーライタ

EC-710

取扱説明書



- ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- この取扱説明書の内容を無断で転載することは禁じられています。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

このたびは、マックス電子チェックライトをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

ご使用上の注意

■表示について

この取扱説明書および商品には、本機を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

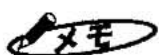


注意

取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことや、物的損害のみの発生が予想され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

お願い

本機が故障し修理が必要となることが想定される操作や、現状復帰するために、リセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書いてあります。



操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

■絵表示について



記号は「気を付けるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。



記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。



記号は「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な指示内容です。

ご使用上の注意

警告



- 本機は絶対に分解または改造しないでください。火災、感電、故障の原因になります。



- 本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。故障や感電、けがの原因になります。
- 電源は直接コンセントから取り、タコ足配線はしないでください。火災の原因になります。
- 電源コードの上に重たいものを絶対にのせないでください。コードに傷が付いて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
- 本機の内部に指を入れしないでください。けがの原因になります。
- 水、薬品などが本機にかからないようにしてください。故障や火災、感電の原因になります。
- インクは有害物質なので、インクをなめないでください。






- 電源はAC100V専用コンセントを使用してください。100V以外の電源を使用すると、故障や火災、感電の原因になります。



- 万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると故障や火災、感電の原因になります。
- 故障のまま本機を使わないでください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど故障のまま使用すると火災、感電の原因になります。電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理を依頼してください。

ご使用上の注意

⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none">●大きな容量を必要とする機器（冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントを共用しないでください。電圧が下がり、本機が誤動作する可能性があります。●紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">●インクロールを交換する際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。本機が不意に動作した時、けがの原因になります。●長時間使用しない時は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。●設置場所を移動する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。無理をするとコードが傷付き、火災、感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">●電源プラグは定期的に清掃してください。長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。●電源プラグを抜く時は、電源コードを引っぱらずに必ず電源プラグを持って抜いてください。コードが破損して火災や感電の原因になります。●本機は水平に設置してください。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。

ご使用上の注意

お願い 本機のトラブルを避け、故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

- トラブルの原因になりますので次のような場所では使用および保管しないでください。
 1. 直射日光の当たる場所やヒーターなどの熱源に近い場所
 2. ホコリや湿気の多い場所
 3. 傾いたり振動や衝撃の加わる場所
 4. 温度が0℃以下、40℃以上になる場所
- 紙以外のシートや証券用紙以上の厚紙（ダンボール等）には印字しないでください。また、証券を2枚以上挿入しないでください。紙づまりをおこし故障の原因になります。
- 印字中は用紙が自動的に左側に送られますので、無理に引き抜いたり、送りをとめたりしないでください。また、紙が移動する方向に物を置かないでください。正しく印字できないばかりでなく故障の原因になります。
- 印字中に電源プラグを抜いたり、電源スイッチを切らないでください。故障の原因になります。
- 空印字をすると耐久性が落ちるばかりでなく、証券の裏を汚す原因になりますのでさけてください。万一空印字してしまった場合には、用紙の裏の汚れを防ぐため、不用の紙に一度印字して汚れを取ってからご使用ください。
- インクロールは専用インクロール（R-50）をご使用ください。市販のインク、アルコール、油等は絶対に補給しないでください。故障の原因になります。
- 本機の汚れを落とす際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤や薬品は使わないでください。変形したり変色するなどの原因になります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

目次

1	EC-710の特徴	6
2	付属品をおたしかめください	6
3	各部の名称(外観)	7
4	各機能の説明(キーボード部)	7
5	手形・小切手・領収書の発行(発行モード)	8
6	累計金額呼び出し(累計金額モード)	11
7	累計枚数呼び出し(累計枚数モード)	13
8	インクロールの交換方法	14
9	トラブルとその処置	15
10	商品仕様	16
11	保証書とアフターサービス	17

1 EC-710の特徴

①(印字方式)

シリアル印字方式を採用し、印字ムラがでにくい濃い印字と、深い刻み込みの美しい印字が得られます。

②(印字方法)

印字は最大12桁まで対応でき、数字を入力後、Pキーを押すだけで自動的に印字します。¥/※/カンマのマークは常に正しい位置に自動的に印字します。

③(用紙押さえ機構)

印字と同時に用紙を固定し、用紙送りも自動的に行います。

④(累計機能)

発行した金額、枚数を累計し、表示画面で確認する事ができます。累計発行金額は、印字して確認する事もできます。

(電源を“OFF”にすると、累計内容はクリアされます)

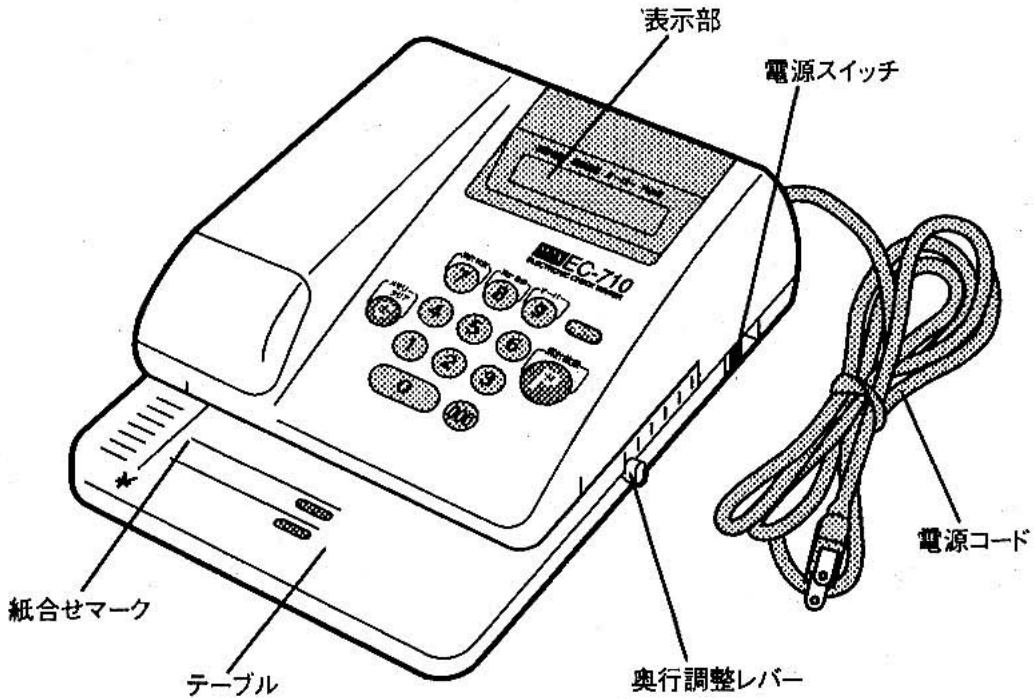
2 付属品をおたしかめください

- インクロール (1ヶ、本機セット済)
- 取扱説明書 (本書)
- ダストカバー (1枚)
- お試し用紙 (2枚)

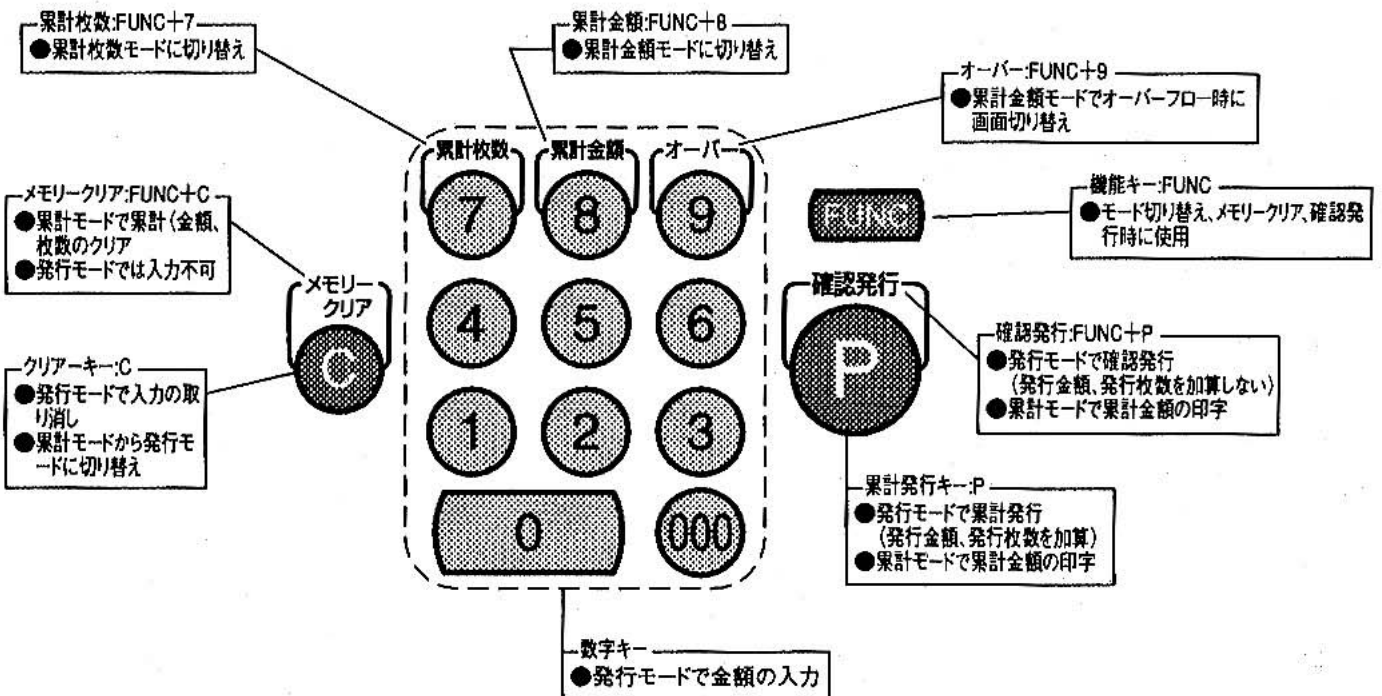
- 販売店シール (1枚)
- 印字位置シール
- お客様カード (保証書)
(必要事項の記入もれがないか、ご確認ください。)

3 各部の名称 (外観)

●外観

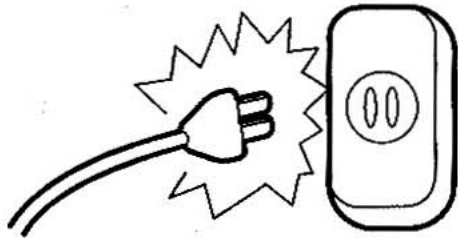


4 各機能の説明 (キーボード部)

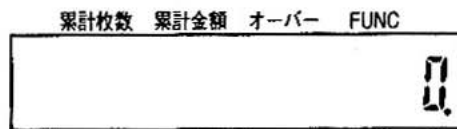


5 手形・小切手・領収書の発行（発行モード）

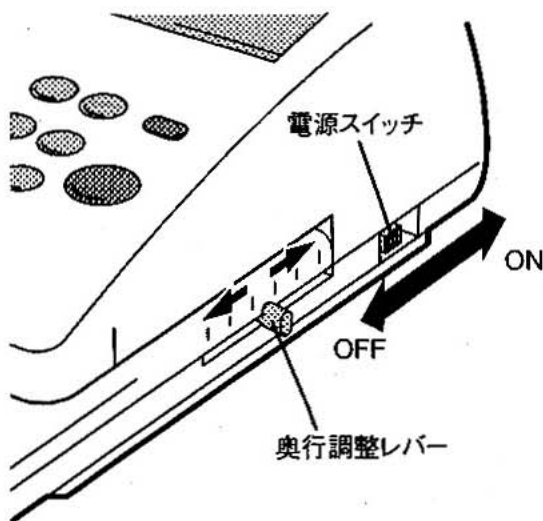
- ①電源コードを100V専用コンセントに差し込みます。



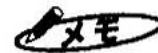
- ②電源スイッチを“ON”にします。表示部に“0.”が表示されます。ステータスバーは表示されません。



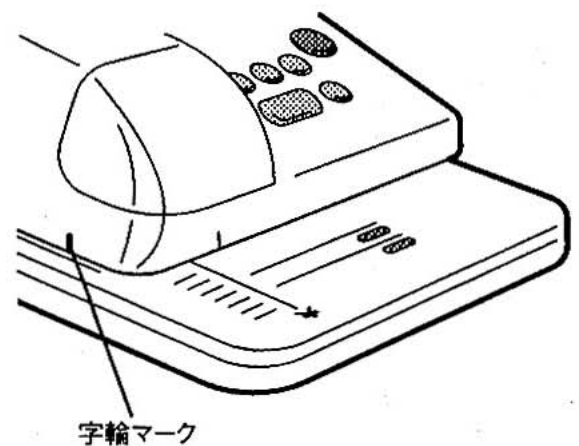
- ③奥行き調整レバーで印字奥行きを調整します。



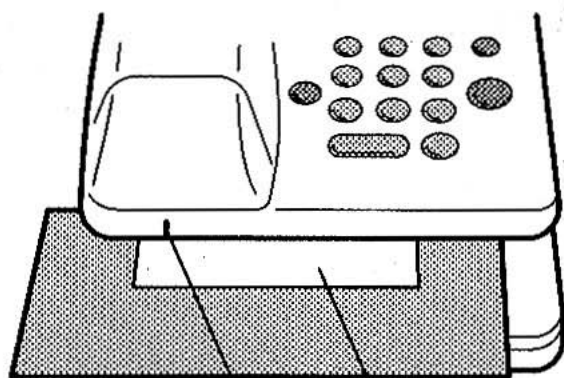
- 手形、小切手の場合には紙合せマークに用紙の下側を合わせます。



- 証券以外の場合（領収書など）には、奥行き調整レバーの目盛、テーブルの紙合せマーク、字輪マークを目安にしてください。



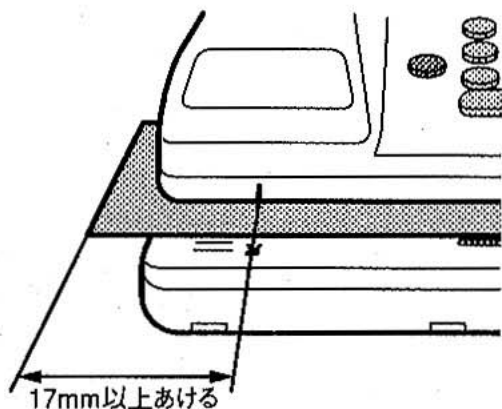
- ④左右位置は、用紙の印字開始位置を印字開始マークに合わせます。印字開始マークの位置に¥が印字されます。



印字開始マーク 用紙

お願い

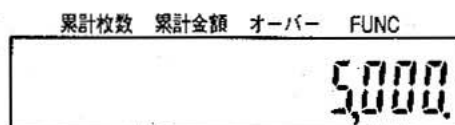
本機の機構上用紙の左端より印字開始部が17mm以上ないと用紙が送られず、1ヶ所に重ね印字してしまい証券を汚すおそれがあります。ご使用の際は下図のように用紙を正しくセットしてください。





- ⑤数字キーを押して希望の金額を入力します。

[例：¥5,000を発行する場合]

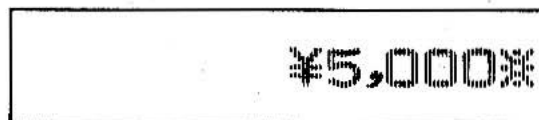
- ⑤ ①①① と入力します。
- 表示画面を確認します。








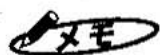
- 入力を間違えた場合には、 キーを押して最初から入力してください。

- ⑥  キーを押して、発行します。

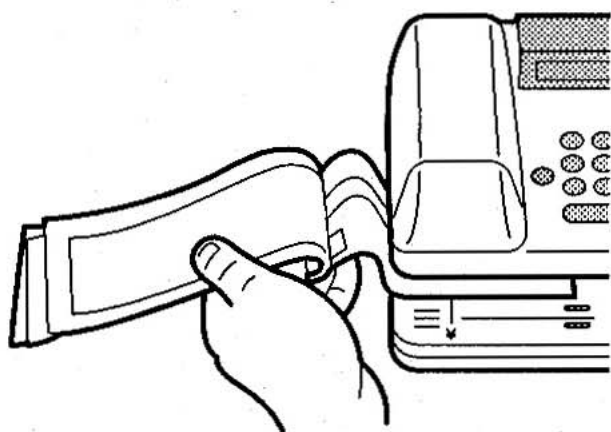
[印字例]



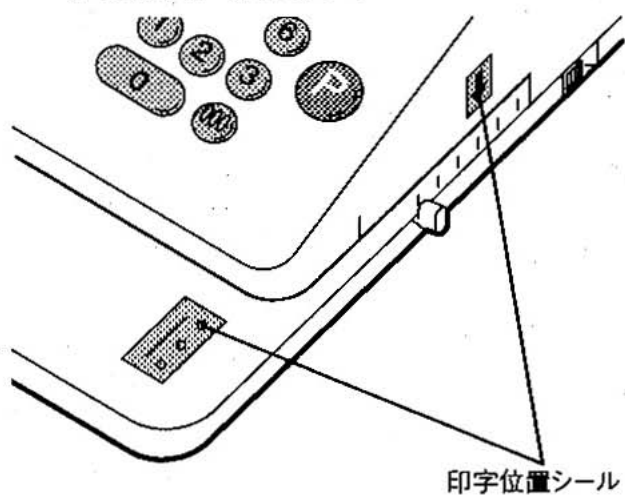
- 同じ金額でもう一枚必要な場合には用紙を入れ、そのまま  キーを押します。
- 別の金額をご希望の場合は、そのまま数字キーを押して入力してください。 キーを押す必要はありません。
-  キーで発行した場合には、発行した金額は、累計金額/枚数に加算されます。
- 累計金額/枚数に加算させない場合は、 キーを押した後に、 キーを押して発行します。



- 冊子のまま印字する場合には、送られる用紙が上になるようにしてください。



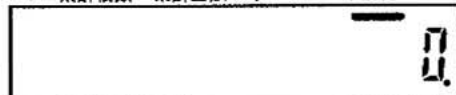
- 印字位置シールのご利用方法
手形・小切手・領収書などの位置合わせや、奥行き調整の目印として図のように、テーブル、ケースに貼ってご使用ください。



6 累計金額呼び出し (累計金額モード)

- ① **FUNC** キーを押します。
表示画面にステータスバーが“FUNC”の位置に表示した事を確認してください。

累計枚数 累計金額 オーバー FUNC



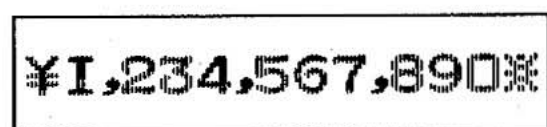
- ② **8** キーを押すと累計金額モードに切り替わり、今までに印字した累計発行枚数が表示されます。ステータスバーは、“累計金額”の位置に表示されます。

累計枚数 累計金額 オーバー FUNC



- ③ **P** キー、または **FUNC** + **P** キーを押すと、累計発行金額を印字します。(最大16桁)

[印字例]



- ④ 累計発行金額をクリアする場合は、累計金額モードで **FUNC** + **C** キーを押してメモリークリアさせます。

メモ

- 累計発行金額は、電源を“OFF”にすると、クリアされます。

- ⑤ 累計発行金額は、最大16桁分まで、表示および印字ができます。累計発行金額が、14桁を超えた場合は、累計発行モードで、ステータスバーが“オーバー”の位置に表示され、上位14桁まで表示されます。

[例：16桁の場合


¥1,234,567,890,123,456)

累計枚数 累計金額 オーバー FUNC



- ⑥ **FUNC** + **9** キーを押すと画面が切り替わり、下位2桁目までを表示します。

累計枚数 累計金額 オーバー FUNC



- ⑦ もう一度 **FUNC** + **9** キーを押すと画面が切り替わり、上位14桁を表示します。

累計枚数 累計金額 オーバー FUNC




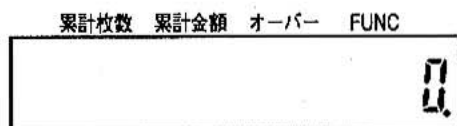
メモ

- 累計発行金額が、17桁以上になった場合は、“Error”表示となります。その場合は、メモリークリアさせるか、電源をOFFにしてください。累計金額は、クリアされます。



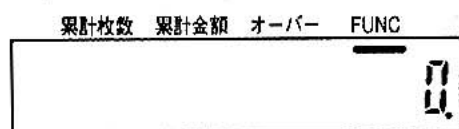
- “Error” になった時には、累計発行金額は印字できません。

- ⑧  キーを押すと発行モードに戻ります。ステータスバーは表示しません。



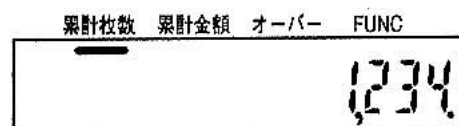
7 累計枚数呼び出し (累計枚数モード)

- ① **FUNC** キーを押します。
表示画面にステータスバーが“FUNC”の位置に表示した事を確認してください。



- ② **7** キーを押すと累計枚数モードに切り替わり、今までに印字した累計発行枚数が表示されます。ステータスバーは、“累計枚数”の位置に表示されます。

(最大9,999まで)

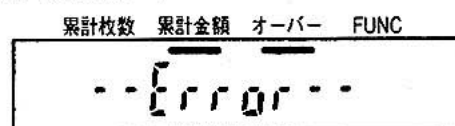


- ③ 累計発行枚数をクリアする場合は、累計枚数モードで **FUNC** + **C** キーを押してメモリークリアさせます。

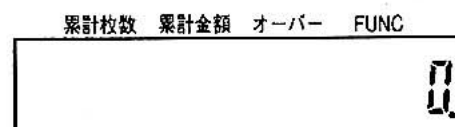
メモ

- 累計発行金額は、電源をOFFにすると、クリアされます。
- 累計発行枚数を印字する事はできません。

- 累計発行枚数が、5桁以上になった場合は、“Error”表示となります。その場合は、メモリークリアさせるか、電源をOFFにしてください。累計枚数は、クリアされます。



- ④ **C** キーを押すと発行モードに戻ります。ステータスバーは表示しません。



8 インクロールの交換方法

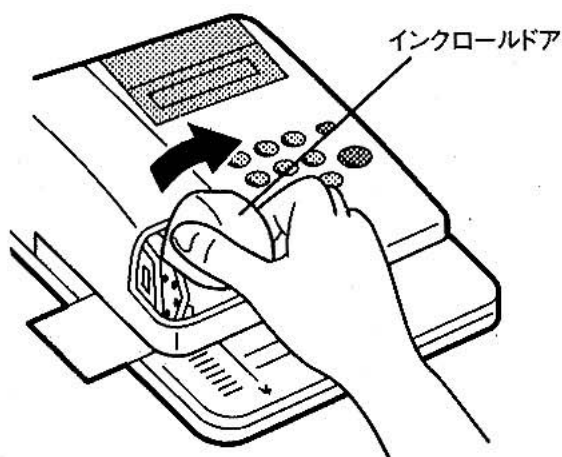
⚠ 注意



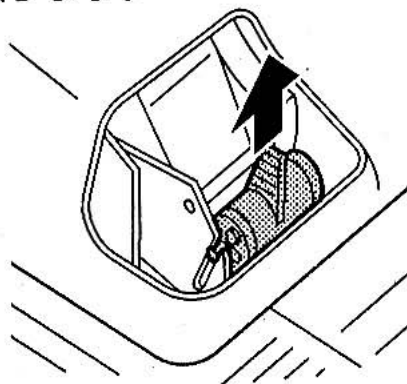
- インクロールを交換する際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

- ご使用中印字がうすくなりましたら、下記の要領でインクロールの交換を行ってください。また、交換時テーブルにインクが付いて交換後に印字する時、証券の裏を汚すことがありますので、不用の紙を入れて行ってください。

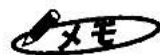
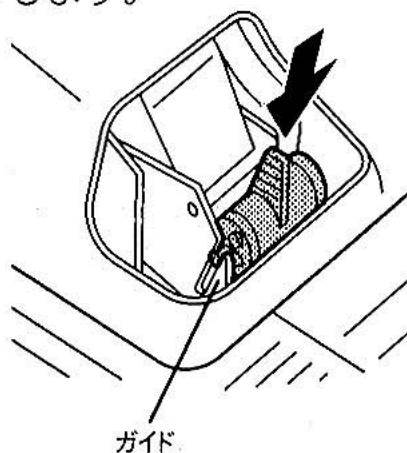
- ①インクロールドアを図のようにはずします。



- ②セットされているインクロールを抜き取ります。








- ③新しいインクロールを図のようにセットします。




- インクロールは別売りとなっておりますので、本機お買い上げの販売店で、マックス電子チェッカー専用インクロールR-50と、ご指定の上お買い求めください。

9 トラブルとその処置

 ご使用中にトラブルが発生した場合は、下表を参考にして本機を確認してください。

症 状	処 置
用紙が入らない場合。	電源スイッチを“OFF”にして、再び“ON”します。次に1桁目の“0.”を確認後、  キーを押します。この症状の場合は、トラブル復帰後に証券の裏側が汚れる可能性がありますので不用の紙に一度印字させ、汚れを取ってからご使用ください。
表示が全桁“0”表示になり、点滅して作動しない場合。 [用紙が抜けなくなったり 用紙が差し込めなくなった] 	電源スイッチを“OFF”にして、再び“ON”します。次に1桁目の“0.”を確認後、  キーを押します。 [軽度のトラブルの場合にはこれ で直り、再びご使用になれます。]
累計金額モード、または、累計枚数モードで、表示画面に“Error (エラー)”と表示した場合。	累計発行金額、または、累計発行枚数が有効桁数以上になっています。 [有効桁数： 累計発行金額=16桁 累計発行枚数=4桁] メモリクリア ( + ) させるか、電源スイッチを“OFF”にしてください。

お願い  キーを押しても“0”が点滅してご使用になれない場合には、お買い求めの販売店、または当社営業所、マックスサービス(株)にご連絡ください。

10 商品仕様

商 品 名	マックス電子チェックライター EC-710
入 力 桁 数	最大12桁(¥、,、※を除く)
印 字 方 式	シリアル印字方式
インキング	インクロール方式(専用インクロール R-50)
機 能	刻み印字、リピート印字、累計発行金額印字、クリアキーによる入力訂正、累計機能(電源スイッチON時のみ)
印字最大奥行	80mm(用紙上端より文字中心まで) / 最小25mm
外 形 寸 法	(幅) 180mm × (高さ) 91mm × (奥行) 245mm
重 量	1.7kg
消 費 電 力	定格最大23W
電 源	AC100V、50/60Hz
使用温度、湿度	温度0℃～40℃、湿度80%RH以内

11 保証書とアフターサービス

■保証書について

- 保証期間中万一故障した場合、保証書記載内容に基づき無料修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理はお買い求めの販売店、当社営業所、またはマックスサービス（株）窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

保証書はお買い上げの販売店で所定の事項を記入の上お受け取りになり、大切に保管してください。

- お客様登録カード：お買い上げ後、必ずお客様登録カードをお送りください。当社のサービス台帳にお客様の名前が登録されます。

■アフターサービスについて

- この商品はお持ち込み修理となっております。

お買い求めの販売店、または当社営業所、マックスサービス（株）窓口にお持ち込みください。



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。



本社	営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03)3669-8121(代)
東京	支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03)3669-8101(代)
札幌	支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011)261-7141(代)
仙台	支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022)236-4121(代)
名古屋	支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL (052)935-8531(代)
大阪	支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06)444-2031(代)
広島	支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL (082)291-6331(代)
福岡	支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL (092)411-5416(代)
盛岡	営業所	〒020-0865	盛岡市仙北町下野18-1	TEL (019)635-5575(代)
郡山	営業所	〒963-0201	郡山市大槻町字谷地50-7	TEL (0249)61-0746(代)
多摩	営業所	〒190-0022	立川市錦町5-17-19	TEL (042)528-3051(代)
神戸	営業所	〒658-0081	神戸市東灘区田中町3-3-3	TEL (078)412-6220(代)
北九州	営業所	〒802-0061	北九州市小倉北区三朝丸3-6-20久野ビル1F	TEL (093)931-3733(代)
南九州	営業所	〒891-0113	鹿児島市東谷山6-17-7サンアベニュー1F	TEL (099)269-5347(代)
新潟	マックス	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL (0256)34-2112(代)
水戸	マックス	〒310-0043	水戸市松ヶ丘2-3-27	TEL (029)255-3761(代)
群馬	マックス	〒379-2215	群馬県佐波郡赤堀町大字今井543-2	TEL (0270)62-1123(代)
埼玉	マックス	〒331-0041	大宮市日進町3-421	TEL (048)651-5341(代)
千葉	マックス	〒284-0001	四街道市大日1870-1	TEL (043)422-7400(代)
横浜	マックス	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL (045)364-5661(代)
長野	マックス	〒390-0847	松本市笹部1-6-25	TEL (0263)26-4377(代)
静岡	マックス	〒422-8036	静岡市敷地1-3-26	TEL (054)237-6116(代)
金沢	マックス	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL (076)240-1871(代)
京滋	マックス	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL (075)645-5061(代)
岡山	マックス	〒700-0971	岡山市野田3-23-28	TEL (086)246-9516(代)
四国	マックス	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL (087)866-5599(代)
徳島	営業所	〒770-0886	徳島市末広町1-4-25	TEL (0886)23-0286(代)
松山	営業所	〒790-0951	松山市天山町28-1	TEL (089)913-0608(代)
マックスサービス本社		〒330-0038	埼玉県大宮市宮原町2-99-5	TEL (048)667-6448(代)
マックスサービス札幌		〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011)231-6487(代)
マックスサービス仙台		〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022)237-0778(代)
マックスサービス名古屋		〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL (052)935-8210(代)
マックスサービス大阪		〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06)446-0815(代)
マックスサービス広島		〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL (082)291-5670(代)
マックスサービス福岡		〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL (092)451-6430(代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。